

おいしい！の
笑顔をつくる

Be always for Customers!

井村屋グループ株式会社



お花屋

— 株主のみなさまへ —

第80期 報告書

平成28年4月1日 ▶ 平成29年3月31日

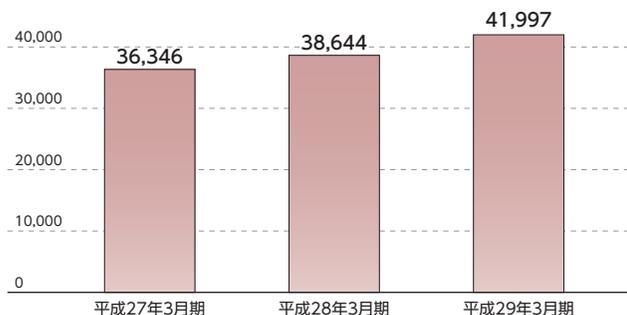


imuraya group

連結財務ハイライト

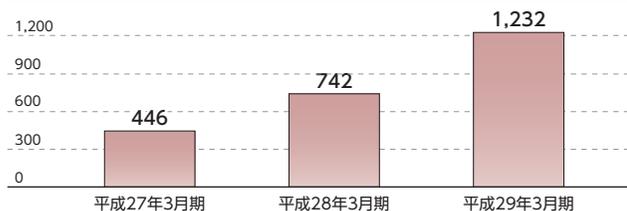
売上高

単位:百万円



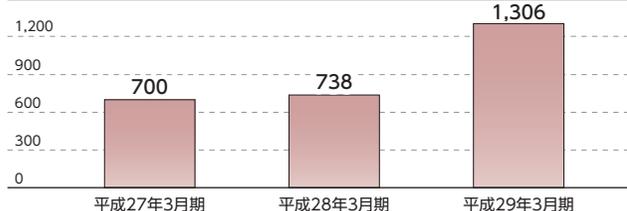
営業利益

単位:百万円



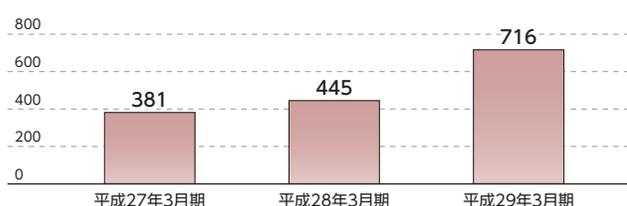
経常利益

単位:百万円

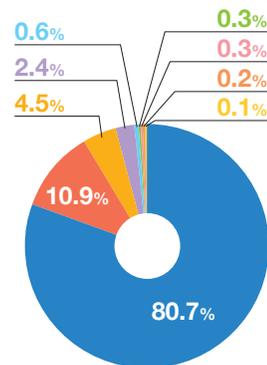
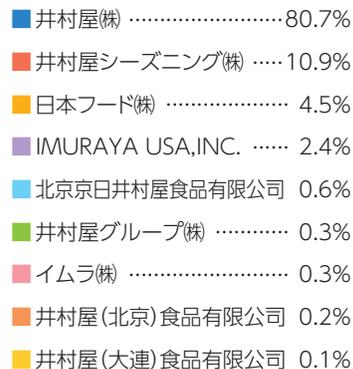


親会社株主に帰属する当期純利益

単位:百万円



持株会社及び事業会社別の売上高



井村屋グループ2017年度経営目標

One imuraya 2017

井村屋グループは、平成27年4月から平成30年3月までの3年間の経営方針として、中期3カ年計画「One imuraya 2017」を策定し、その最終年度を迎えました。厳しさを増す経営環境のなか、グループ間の連携を強め、より一層のシナジー効果を発揮することでグループ企業価値をさらに高めてまいります。常にお客様の視点に立ち、継続的なイノベーション(革新)で特色経営をさらに磨き、着実な成長によって社会に貢献するグループ企業を目指します。

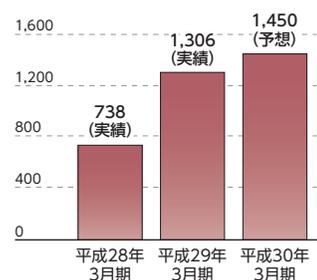
売上高

単位:百万円



経常利益

単位:百万円



井村屋グループ理念

井村屋グループ各社・各部門そして私たち一人ひとりの活動の原点であり、精神的支柱となるもので、以下3つの要素からなります。

Mission ミッション(社会的使命)

「おいしい!の笑顔をつくる」

安全で安心できる楽しい商品・サービスを提供し、お客様の食生活においしい!の笑顔の輪を広げ続けることが、私たちの社会的使命です。

Vision ビジョン(ミッションを果たす道程)

Be always for Customers!

社員一人ひとりが、いつでもお客様の立場に立って、いつもお客様のことを意識し、行動しましょう。

Passion パッション(情熱、心意気、行動)

「イノベーション(革新)」

イノベーションの発揮には常に強いパッションが求められます。全体最適を考え、全員でイノベーションに向けて活動することが「特色経営」につながり、新しい付加価値になります。



井村屋グループ株式会社
代表取締役会長(CEO)

浅田 剛夫



井村屋グループ株式会社
代表取締役社長(COO)

大西 安樹

株主のみなさまへ

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

第80期(平成28年4月1日～平成29年3月31日)を終了し、報告書をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、企業収益や雇用情勢の改善を背景に緩やかに回復基調が続いておりますが、海外経済の不確実な情勢に起因する為替相場・株式市場の変動により、先行き不透明な状況で推移しました。

このような経営環境下で、中期3カ年計画「One imuraya 2017」の2年目にあたり、経営目標達成に向け、また周年を控えた重要な「準備の年」として位置づけて事業活動を展開してまいりました。

「2N(NEWとNEXT)の創造」をテーマとして、「やわもちアイス」のブランド育成や海外事業展開が進むなど、新しい市場を創造することができました。コスト面では、昨年に引き続き「バイオマスポイラ」稼働率向上によるコストダウンに加え、新冷凍倉庫「アイアイ

タワー」の稼働により、在庫の適正化、生産性向上がさらに進み、売上、利益とも過去最高となり、増収増益のご報告をさせていただくことができました。

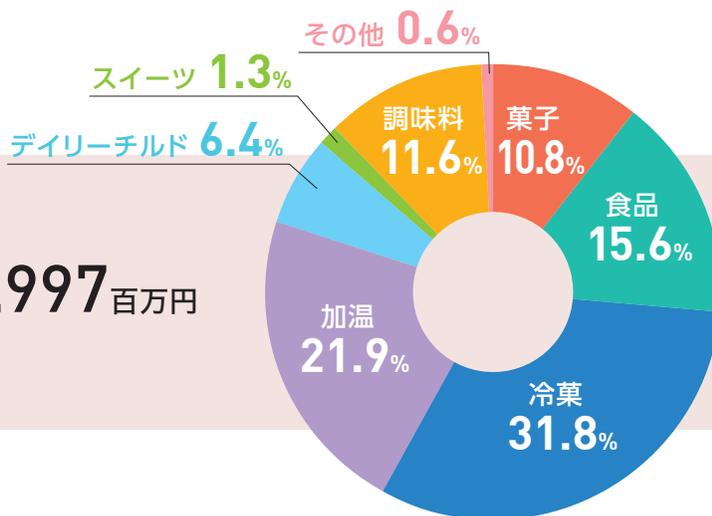
第81期は創業120年・会社設立70周年・グループ経営に移行して7年目を迎えます。周年テーマは「挑む!(Challenge)」として、次の「3つのC」に挑んでまいります。

「変わる(Change)」、「創る(Create)」、「繋げる(Continue)」また「働き方改革」は持続的な成長のためには必須の条件となっておりまして。

「量から質へのイノベーション」を実行し、みなさまから永く支持をいただける力強い企業経営を行ってまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

連結売上高 41,997百万円



菓子 4,544百万円 (前年同期比239百万円(5.6%)増)

ようかん類の中で「えいようかん」や「スポーツようかん」「招福羊羹」シリーズの売上が増加しました。また、製法にこだわった新商品「煮小豆ようかん」を発売し、好評をいただいております。焼き菓子では、「和菓子屋のどら焼き」シリーズ、カステラ類の「クリームチーズカステラ」が順調に推移しました。海外では、中国の井村屋(北京)食品有限公司(IBF)のカステラ販売が計画通り推移しました。



食品 6,562百万円 (前年同期比464百万円(7.6%)増)

夏物商品で容器をリニューアルした「氷みつ」が伸長しました。ホットデザートでは新商品「ゴールド大納言小豆ぜんざい」「ゴールド白小豆ぜんざい」を発売し、ぜんざい、しるこ商品が堅調に推移しました。また、日本フード株式会社ではOEM受託商品の売上が増加しました。



冷菓 13,328百万円 (前年同期比1,788百万円(15.5%)増)

主力商品「あずきバー」シリーズは、24年ぶりに約10%の値上げを行いました。売上本数は前期比103.2%と好調に推移しました。「やわもちアイス」シリーズは、新商品「やわもちアイス わらびもち」の貢献もあって売上が前年同期比57.2%増と大きく伸長しました。また、フランスのクリームチーズブランド「kiri®」とのコラボ商品では、新商品として発売した「クリームチーズコーンアイス」や「やわもちアイス クリームチーズカップ」が好調に推移しました。米国でアイス事業を展開しているIMURAYA USA, INC.では井村屋ブランド商品「もちココナッツアイス」の大手小売業への導入が進みました。



加温 9,182百万円 (スチーマー商品) (前年同期比282百万円(3.2%)増)

コンビニエンスストア向けの加温カテゴリーでは、残暑や暖冬の影響もありましたが、高品質な商品提案などの積極的な販売活動により、最盛期となる10月以降の売上は前年を上回って推移しました。肉まん・あんまん類では、量販店で販売している食品カテゴリーの冷凍まん、デイリーチルドカテゴリーのチルドまんにおいて「ゴールドまん」シリーズの新商品「ゴールドピザまん」が順調に推移しました。また、「蒸す」調理の後で「焼く」調理を加えることで新しい食感を味わっていただける新ジャンルの「バイクド・デリ」シリーズを発売し好評をいただきました。

なお、約20億円の設備投資を予定し建設を進めております「点心・デリ工場」も計画通り工事が進行しており、2017年度以降も、更なる成長戦略の展開を図ってまいります。



デイリーチルド 2,697百万円 (前年同期比73百万円(2.8%)増)

SOY(大豆)事業において、「栄養・健康に配慮した食品」として「高カロリー豆腐」を開発、発売しておりますが、その取り組みが評価され、「第38回食品産業優良企業等表彰」において「農林水産大臣賞」を受賞しました。今回の受賞を契機に「高カロリー豆腐」のさらなる拡売を図ってまいります。また、豆腐類では「美し豆腐」やその他の業務用商品の売上が増加しました。



スイーツ 555百万円 (前年同期比173百万円(45.3%)増)

「Anna Miller's(アンナミラーズ)高輪店」が新メニューの発売など、お客様満足の向上に努め、堅調に推移しました。「JOUVAUD(ジュヴォー)」では、「La maison JOUVAUD(ラ・メゾン・ジュヴォー)KITTE名古屋店」が2016年6月にオープンして以来、特色あるメレンゲ菓子の「生ロカイク」がテイクアウト商品として人気を集めており、引き続き好調に推移いたしました。また、全国5都市(東京、名古屋、大阪、京都、博多)6箇所の百貨店でバレンタインデーに向けたチョコレートを中心とする催事販売を行い、好評をいただくとともに、更にブランドの認知度向上が図られました。



調味料 4,892百万円 (前年同期比329百万円(7.2%)増)

国内では井村屋シーズニング株式会社、お客様のニーズに対応した生産機能と新商品の提案を行い、OEM及びODM(Original Design Manufacturing)市場での新規販売先の開拓により売上高が増加しました。また、コスト面においても生産性向上活動により、労務費とエネルギーコストの低減が図られました。中国での調味料事業では、北京の北京京日井村屋食品有限公司(JIF)が中国国内で積極的な販路拡大に取り組みました。大連の井村屋(大連)食品有限公司(IDF)では生産量が増加するとともに製造原価の低減が図られ、中国の調味料事業は計画を上回る推移となりました。



その他 234百万円 (前年同期比1百万円(0.7%)増)

イムラ株式会社が行っているリースや保険の代理業は堅調に推移しました。また、井村屋商品のアウトレット販売を行っております「MOTTAINAI屋」はお客様へのサービス向上に取り組み、地域住民の皆様から引き続き好評をいただきました。本社所在地である三重県津市の近鉄津駅構内に店出している「Imuraya Sweets Shop Irodori」は特色のあるスイーツ商品を中心に人気を得ております。

連結貸借対照表(要約)

単位:百万円

	前連結会計年度末 平成28年3月31日	当連結会計年度末 平成29年3月31日
(資産の部)		
流動資産	8,918	9,958
現金及び預金	909	799
受取手形及び売掛金	4,945	5,146
たな卸資産	2,428	3,241
その他	635	772
貸倒引当金	△1	△1
固定資産	14,381	16,195
有形固定資産	12,224	13,837
無形固定資産	138	124
投資その他の資産	2,019	2,233
繰延資産	29	20
資産合計	23,329	26,175
(負債の部)		
流動負債	10,300	12,487
固定負債	2,192	2,363
負債合計	12,492	14,850
(純資産の部)		
株主資本	8,773	9,001
その他の包括利益累計額	2,034	2,297
非支配株主持分	28	26
純資産合計	10,837	11,324
負債・純資産合計	23,329	26,175

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要約)

単位:百万円

	前連結会計年度 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	当連結会計年度 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで
売上高	38,644	41,997
売上原価	26,407	28,322
売上総利益	12,237	13,675
販売費及び一般管理費	11,494	12,443
営業利益	742	1,232
営業外収益	151	139
営業外費用	155	65
経常利益	738	1,306
特別利益	71	54
特別損失	103	208
税金等調整前当期純利益	705	1,152
法人税等合計	259	436
当期純利益	446	716
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0
親会社株主に帰属する当期純利益	445	716

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1

売上面では、流通事業セグメントにおいて冷蔵カテゴリーを中心に全カテゴリーで売上が増加しました。コスト面では、バイオマスボイラの稼働率向上に伴う動燃費の削減や冷凍倉庫「アイアイタワー」の設備投資効果による保管料減少などとともに、グループ全体で取り組んでいる生産性向上活動によって、コスト低減が図られました。その結果、売上高、各利益とも過去最高の業績となりました。

POINT 1 資産

物流効率を目的とした物流倉庫設備や営業事務所などの有形固定資産取得により増加しました。

POINT 2 負債

営業活動、投資活動により仕入債務、未払金が増加しました。

POINT 3 純資産

親会社株主に帰属する当期純利益、その他有価証券評価差額金が増加しました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

単位:百万円

	前連結会計年度 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	当連結会計年度 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,952	2,278
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,034	△ 2,555
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,880	205
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 99	△ 37
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 61	△ 109
現金及び現金同等物の期首残高	965	904
現金及び現金同等物の期末残高	904	794

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT 1 (営業活動によるキャッシュ・フロー)

前年同期に比べ、夏場に向けた製商品在庫の戦略的備蓄、また製商品、投資に関する仕入債務及び未払金が増加しました。

POINT 2 (投資活動によるキャッシュ・フロー)

前年同期に比べ、有形固定資産の取得による支出が増加しました。

POINT 3 (財務活動によるキャッシュ・フロー)

前年同期に比べ、短期借入金の借入に伴う収入が増加しました。

連結株主資本等変動計算書(要約)

単位:百万円

平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	株主資本					その他の包括利益累計額					非支配 株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差 額 金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当 期 首 残 高	2,253	2,240	4,952	△ 673	8,773	74	1,969	18	△ 28	2,034	28	10,837
当 期 変 動 額												
剰余金の配当			△ 242		△ 242							△ 242
親会社株主に帰属する当期純利益			716		716							716
自己株式の取得				△ 246	△ 246							△ 246
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						160	—	△ 23	125	262	△ 2	259
当期変動額合計	—	—	474	△ 246	227	160	—	△ 23	125	262	△ 2	487
当 期 末 残 高	2,253	2,240	5,427	△ 920	9,001	235	1,969	△ 4	96	2,297	26	11,324

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況

会社が発行する株式の総数	50,000,000株
発行済株式の総数 (自己株式886,212株を含む)	12,822,200株
単元株式数	100株
株主数	5,083名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社第三銀行	588	4.93
株式会社百五銀行	578	4.84
株式会社三菱東京UFJ銀行	559	4.68
井村屋取引先持株会	513	4.30
中山芳彦	363	3.04
株式会社りそな銀行	286	2.39
株式会社西村商店	239	2.00
双日食料株式会社	232	1.94
井村屋従業員持株会	219	1.83
三井住友海上火災保険株式会社	206	1.73

※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主様へのインフォメーション

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料)
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.imuraya-group.com/ir/ad/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部 名古屋証券取引所 市場第二部

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記特別口座の口座管理人に、お問合せください。

特別口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
連絡先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
同取次窓口 三井住友信託銀行株式会社 全国各支店

なお、特別口座の口座管理機関につきましては、平成29年7月1日より三井住友信託銀行株式会社から三菱UFJ信託銀行株式会社に変更いたしますので、お知らせいたします。

- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主様ご優待

毎年3月31日現在及び9月30日現在の株主のみなさまに対し、ご優待品を贈呈しております。下期3月31日現在の株主様のご優待品は6月中旬頃にお送りいたしております。以下は、平成29年3月31日現在の株主様を対象としたご優待品でございます。

※平成28年10月1日の単元株式数の変更及び株式併合に伴い、100株以上保有の株主様への株主優待を拡充いたしました。

100株以上500株未満の株主様

500円相当の井村屋新商品



500株以上1,500株未満の株主様

1,500円相当の井村屋商品オリジナルギフト



1,500株以上の株主様

①と②を合わせてお送りいたします。

①1,500円相当の井村屋商品オリジナルギフト



②1,500円相当のセレクトギフト

次の2種類からお一つお選びいただけます。

アイスクリーム詰め合わせ



マイギフト



※②でアイスクリーム詰め合わせをお選びいただいた場合、冷凍商品のため、オリジナルギフトとは別便にてお届けいたします。

※写真はイメージです。内容が一部変更する場合がありますので、ご了承ください。

菓子



煮小豆ようかん

食物繊維やカリウム、ポリフェノールなどのあずきの栄養をギュッと閉じ込めたようかんです。食べ切りサイズの7本入り。ちょっと甘いものが欲しいときにも最適です。



和菓子の夏ぎふと

夏の風物詩をイメージしたパッケージで涼感を感じられるギフトです。水ようかん(煉、抹茶、小倉)、くずもち、柚子くずもち、くずまんじゅう、黒糖わらびもち、冷やしぜんざい、フルーツみつめゼリーを詰め合わせました。

食品



煮小豆

食物繊維やカリウム、ポリフェノールといったあずきの栄養をギュッと閉じ込めたほんのり塩味で甘くないあずきです。ドライフルーツのようにそのまま食べても、普段の料理に加えてもおいしくお召し上がりいただけます。



大人の氷みつ

「カフェフラッペ ミルクティー」
「カフェフラッペ カフェモカ」

人気のフローズンスイーツをご家庭で手軽に楽しめる氷みつです。インド産アッサム茶葉エキスとミルクを使用した濃厚な味わいの「カフェフラッペ ミルクティー」、コロンビアコーヒーとベルギーチョコレートを使用した「カフェフラッペ カフェモカ」の2種類があります。

デイリーチルド



うま 4個入り 美しい豆腐

三重県産大豆と三重県尾鷲の海洋深層水にがりを使用したなめらかな豆腐です。賞味期間が45日と長く、75gの食べきりサイズです。



ソイ ドルチェ Soy Dolce (チョコレート・紅茶・キャラメル) 東海地区限定

スイーツは食べたい!けれどカロリーも気になる...そんな方におすすめする100kcal以下の豆腐スイーツを発売しました。大豆のえぐみが少ない有機豆乳を使用し、オリゴ糖を配合。添付のソースをかけてお召し上がりください。

冷菓



やわもちアイス (抹茶つばあんカップ・わらびもち)

井村屋の新定番「やわもちアイス」の抹茶つばあんカップとわらびもちがリニューアルしました。「やわもちアイス 抹茶つばあんカップ」は抹茶パウダーをトッピングしてより風味が豊かになり、「やわもちアイス わらびもち」は本わらび粉増量でぶるんとした食感がアップしました。

～煮小豆とは～

あずきの持つ健康性・機能性に注目！

通常、あずきを炊く際は、渋みや苦味を含む煮汁を取り除きます。しかし、実はこの煮汁にはポリフェノールやカリウム、食物繊維といった様々な栄養成分が含まれています。煮小豆は独自の製法により、煮汁ごと炊いても渋みのないおいしいあずきに仕上げています。そのまま食べても、サラダやヨーグルトに入れてもおいしくお召し上がりいただけます。

井村屋は長年、あずきの「おいしさ」を追求してきましたが、これからはあずきの健康性・機能性にも注目し「あずきでお客様の健康に貢献する」というNext Newに挑みます。



煮小豆



煮小豆チョップドサラダ

～あずきバーTVCM～

今年のあずきバーTVCMも歌舞伎俳優の尾上松也さんが登場します。今年茶屋「井村屋」を舞台に茶店娘を演じる中尾百合音さんと尾上松也さんがあずきバーを巡ってユニークなCMを展開いたします。是非ご覧ください。



～Many Thanksキャンペーンが今年も始まりました～

毎年多数のご応募をいただいておりますBOXあずきバーシリーズのMany Thanksキャンペーンを今年も実施しております。今年創業120年・設立70周年記念としてプレゼントの当選人数を倍増いたしました。(2016年度実施 井村屋あずきバーMany Thanksキャンペーン当選人数比) 対象商品についている「アズキングマーク」を集めてご応募ください。お待ちしております！

おかげさまで創業120周年記念 Many Thanks キャンペーン 今年もスタート！

今年特別！あずきバー人気商品！井村屋 BOXあずきバーシリーズ 対象商品についている「アズキングマーク」を集めて応募しよう！

賞品

- A 賞品 現金5万円分
- B 賞品 賞品券400枚
- C 賞品 賞品券400枚

応募期間 第1回抽選 2016年 7月31日(月) 第2回抽選 2016年 9月30日(土)

井村屋株式会社

三重県経営品質賞 知事賞受賞

2012年4月にスタートした経営品質向上活動への取り組みにおいて、三重県経営品質賞の知事賞を受賞しました。今回「強くて、しなやかで、魅力ある会社」の理想的な姿がグループ企業全体に浸透された活動となって実践している点、次世代の顧客に提供価値を高めるための製品開発・製造が行われている点などが高い評価を得て、受賞に至りました。今回の受賞を機に、さらなる経営品質向上に向けて、活動をブラッシュアップさせていきます。



受賞式の様子

やわもちアイス

日本食糧新聞社 第35回食品ヒット大賞 優秀ヒット賞受賞

現在ご好評いただいている「やわもちアイス」シリーズにおいて、日本食糧新聞社主催 第35回食品ヒット大賞の「優秀ヒット賞」を受賞しました。「やわもちアイス」シリーズは井村屋独自の技術で、冷凍下でも柔らかいもちとつぶあん、アイスの3層で構成され、それらの織り成すハーモニーを楽しめる商品です。2012年の発売以来多くのお客様に支持され、昨年には、累計販売個数も1億個を突破し、現在はあずきパーに次ぐブランドとして成長しています。今回の受賞を機に「やわもちアイス」シリーズのさらなる拡売を図っていきます。



優秀ヒット賞 盾

海外展示会 (Natural Products EXPO)

現在、井村屋グループでは、「あずきをAZUKIに!」をスローガンに井村屋商品を積極的に世界へ発信しております。2017年3月には、米国で行われた展示会「Natural Products EXPO」に、IMURAYA USA, INC.で販売しております「もちココナッツアイス」や米国向けの「あずきパー」等をIMURAYA USA, INC.と協働で出品し、現地の消費者の方から好評を得ました。今後も、海外展示会への出展や井村屋商品の輸出など積極的にグローバル活動を展開し、世界の方々に井村屋を広めてまいります。



Natural Products EXPO(米国)



FHC China(上海)

第27回全国菓子大博覧会(お伊勢さん菓子博2017)に出展 (2017年4月21日～5月14日)

お伊勢さん菓子博2017では、企業PRブースである三重おいしい館内の「ようこそ!あずき王国へ」において井村屋のコア原料である「あずき」の魅力をご紹介するほか、菓子博限定のアイアイカフェでアンナミラズやジュヴオー商品を提供するなど、井村屋グループの多様な経営資源を生かした活動をしました。

また、この開催に伴って排出されるCO₂をゼロにする取り組み「カーボン・オフセット」に協力するため、バイオマスボイラ稼働によって得たクレジットより3,655tを提供しました。これは菓子博期間中に排出されるCO₂のうち約99%に相当するため、三重県より感謝状を贈呈されました。



「ようこそ!あずき王国へ」にて記念撮影されるご家族

井村屋フーズ株式会社発足

2017年4月、業務用調味料を生産する井村屋シーズニング(株)とレトルト・スパウチ商品を中心とした食品加工事業を展開する日本フード(株)が合併し、井村屋フーズ(株)が発足しています。井村屋グループにおけるBtoB事業の中心的企業である2社が合併することでシナジー効果を一層強く発揮することが期待されます。それぞれが持つ技術を融合させ、お客様に新たな価値を提供することで更なる成長につなげてまいります。



発足式典の様子

井村屋株式会社関西支店新設

2017年2月に井村屋(株)関西支店が竣工いたしました。旧支店は1969年に設立され、2017年1月までの約48年間使用されてきましたが、老朽化もあり、社屋を新設いたしました。新社屋は、環境配慮しており、緑化面積を152㎡と大幅に増加し、外壁には断熱パネルを採用、事務所内は省エネタイプの空調機、照明は全てLED照明となっております。この新社屋のもと、新たな歴史を創り、井村屋商品の更なる拡販を図ってまいります。



新設された関西支店



事務所内



おかげさまで井村屋グループは2017年に
創業120年、会社設立70周年を迎えます。

1896年（明治29年）11月15日に井村和蔵が三重県松阪市にて菓子の製造をはじめ、和菓子屋として創業しました。人の真似をしない「特色経営」にこだわり常に新しい商品を提供し続け、普遍性は失わない「不易流行」は、創業以来の姿勢です。

井村屋のあゆみ

- 1896年11月 菓子舗「井村屋」開業（三重県松阪市）
ようかん発売
- 1947年4月 株式会社井村屋設立
- 1948年 津市高茶屋にビスケット工場（津工場）竣工、
農林省指定乾パン工場となる
- 1953年 井村屋製菓株式会社に社名を変更
- 1961年 名古屋証券取引所市場第二部に株式上場
井村屋乳業株式会社設立
- 1962年 ゆであずき発売
- 1964年 肉まん・あんまん発売
- 1967年 氷みつ発売
- 1969年 日本フード株式会社（食品の製造販売）設立
- 1973年 あずきバー発売
アンナミラーズ1号店（青山）開店
イムラ株式会社設立
本社を松阪市から津市に移転



山田膳流しようかん
（1896年発売）



ゆであずき
（1962年発売）



肉まん・あんまん
（1964年発売）



氷みつ
（1967年発売）



あずきバー
（1973年発売）

- 1979年 調味料事業部（井村屋シーズニング株式会社、現在の井村屋フーズ株式会社）発足及び生産開始
- 1989年 岐阜雪冷菓株式会社（株式会社ポレア、現在の井村屋株式会社岐阜工場）へ資本参加
- 1990年 コーポレートマークを採用
- 1997年 東京証券取引所市場第二部に株式上場
- 2000年 中国に合弁会社北京京日井村屋食品有限公司（調味料の製造）を設立
- 2003年 JOUVAUD（ジュヴォー）1号店（玉川）開店
- 2005年 井村屋乳業株式会社を吸収合併
- 2006年 中国に合弁会社井村屋（北京）食品有限公司（和菓子の製造販売）を設立
- 2007年 社内託児所開設
- 2009年 アメリカで連結子会社 IMURAYA USA, INC.（冷菓の製造販売）へ資本参加
- 2010年 持株会社制移行に伴い、社名変更（井村屋グループ株式会社）、井村屋株式会社及び井村屋シーズニング株式会社を新設分割
- 2012年 やわもちアイス発売
- 2013年 あずきバー商標権が特許庁より認可
中国に井村屋（大連）食品有限公司（調味料の製造販売）を設立
- 2014年 株式会社ポレアが井村屋株式会社を存続会社とする吸収合併により解散
- 2016年 井村屋株式会社 冷凍倉庫「アイアイタワー」導入
La maison JOUVAUD（ラ・メゾン・ジュヴォー）KITTE 名古屋店開店
- 2017年 井村屋シーズニング株式会社が日本フード株式会社を存続会社とする吸収合併により解散、井村屋フーズ株式会社へ社名変更
井村屋株式会社「点心・デリ工場」竣工



やわもちアイス
(2012年発売)

※第81期中間報告書（2017年11月下旬予定）では、持株会社制移行（2010年度）後のグループ経営のトピックスを紹介します。

持株会社 概要(平成29年6月23日現在)

井村屋グループ株式会社

本社所在地 三重県津市高茶屋七丁目1番1号
創業 明治29年(1896年)
設立 昭和22年(1947年)4月
資本金 2,253百万円
従業員数 45名 ※グループ全体では917名(平成29年3月31日現在)
事業内容 事業会社の経営管理、事業会社に対するコンサルティング、不動産の賃貸・管理

役員・執行役員
代表取締役会長(CEO) 浅田 剛夫
代表取締役社長(COO) 大西 安樹
代表取締役副社長兼上席執行役員 中島 伸子
専務取締役兼上席執行役員 前山 健
専務取締役兼上席執行役員 菅沼 重元
常務取締役兼上席執行役員 中道 裕久
取締役兼上席執行役員(CTO) 伊藤 宏規
取締役 名倉真知子
取締役 西岡 慶子
上席執行役員 森井 英行
上席執行役員 鼎 正教
執行役員 濱口 昭弘
執行役員 岩本 康
執行役員 富永 治郎
執行役員 近藤 久嗣
執行役員 岩上 真人
常勤監査役 脇田 元夫
常勤監査役 寺家 正昭
監査役 若林 正清
監査役 橋本 陽子

(注) 取締役名倉真知子・西岡慶子の両氏は社外取締役であります。
監査役若林正清・橋本陽子の両氏は社外監査役であります。

井村屋グループ株式会社ウェブサイト
<https://www.imuraya-group.com/>

井村屋ウェブショップ
<http://www.imuraya-webshop.jp/>

井村屋株式会社 公式Twitter
https://twitter.com/IMURAYA_DM

井村屋株式会社 公式Facebook
<https://www.facebook.com/azukinoimuraya>

井村屋株式会社 公式Instagram
https://www.instagram.com/imuraya_dm/

井村屋株式会社 公式YouTube
<https://www.youtube.com/channel/UCoatWqjnjbDnfrmkGEzehOCw>

事業会社 概要(平成29年6月23日現在)

より詳しい内容は、各社ウェブサイト、井村屋グループウェブサイトの「グループ企業紹介」(<https://www.imuraya-group.com/outline/group/>)を参照ください。

井村屋株式会社

所在地: 三重県津市高茶屋七丁目1番1号
事業内容: 菓子・食品・デイリーチルド・加温・冷菓・スイーツの製造販売
代表者: 浅田 剛夫・前山 健
<https://www.imuraya.co.jp/>

井村屋フーズ株式会社

所在地: 愛知県豊橋市中原町字地歩24番地の1
事業内容: 菓子・食品・冷菓・調味料・食品添加物の製造販売
代表者: 菅沼 重元
<https://www.imurayafoods.co.jp/>

イムラ株式会社

所在地: 三重県津市高茶屋五丁目6番1号
事業内容: リース代理店業務・不動産管理業務等
代表者: 池田 秀治
<https://www.imuraya-group.com/outline/group/>

北京京日井村屋食品有限公司

所在地: 中国北京市豊台区花郷羊坊308号
事業内容: 調味料の販売
代表者: 前山 健・近藤 久嗣
<http://www.imuraya.cn/jif/>

井村屋(北京)食品有限公司

所在地: 中国北京市豊台区花郷羊坊308号
事業内容: 菓子の製造販売
代表者: 前山 健・周 浩
<http://www.imuraya.cn/ibf/>

IMURAYA USA, INC.

所在地: 2502 Barranca Parkway Irvine, CA 92606, USA
事業内容: 冷菓の製造販売
代表者: 浅田 剛夫・鼎 正教
<https://www.imuraya-usa.com/>

井村屋(大連)食品有限公司

所在地: 中国遼寧省大連市旅順口区長城街道大房身村
事業内容: 調味料の製造販売
代表者: 前山 健・近藤 久嗣
<http://www.imuraya.cn/idf/>



この印刷物は、植物油
インキを使用しています。



見やすいユニバーサル
デザインフォント
を採用しています。

